

February 26, 2008

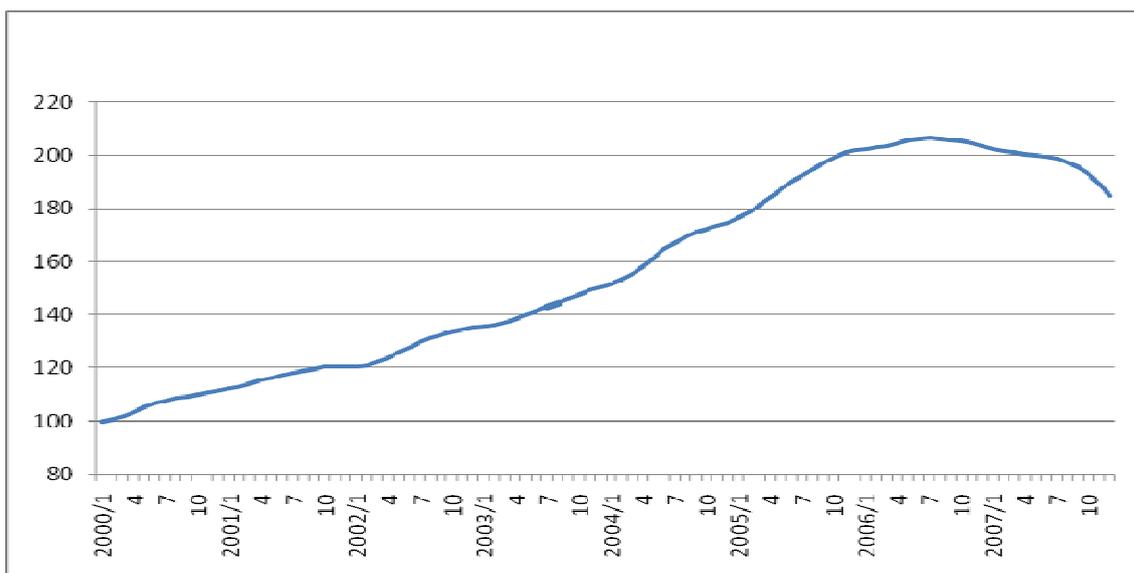
JAWIC

# Seattle News

## 2007年12月の主要20都市近郊住宅価格、前年同月比 - 9.1%

米国住宅価格の指標として定評あるスタンダード&プアーズ住宅価格指数を見ると、2007年12月の主要20都市および近郊の住宅価格は2006年12月に比べ9.1%落込んでいる。20都市のうち、17都市で前年同月比減となり、うち8都市で2ケタのマイナスとなった：マイアミ(-17.5%)、ラスベガス(-15.3%)、フェニックス(-15.3%)、サンディエゴ(-15.0%)、ロサンゼルス(-13.7%)、デトロイト(-13.6%)、タンパ(-13.3%)、サンフランシスコ(-10.8%)。

一方、リアルティートラック社集計による本年1月の住宅ローン支払不能物件(第一次通知および差押等)は23.3万戸となり、2007年1月に比べ57%増加している。ネバダ、カリフォルニア、およびフロリダの3州での割合が高い。数年前に変動金利ローンを組んだ多くの購入者が2008年に高い金利にリセットされるため、何らかの救済策を講じない限り支払不能ケースは今後も増加することが予想される。



図：S&P 主要20都市住宅価格指数 (2000年1月 = 100)